

教科名	国語	科目名	古典探究	単位数	3	対象	2 学年
担当者	高野亜里						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
『新編古典探究』（東京書籍）			『新編古典探究学習課題ノート』（東京書籍） 『古文解釈のための総合力を養う改訂三版 完全マスター古典文法』（第一学習社）			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・説話に親しむ(小野篁、広才のこと)		・説話の特徴について学習する。 ・主語の省略を補えるようにする。			25
	5	・随筆を読む(丹波に出雲といふところあり)		・随筆の特徴について学習する。 ・主述の関係を掴む。			
	6	・作り物語を読む(なよたけのかぐや姫)		・物語のおもしろさを味わう。 ・敬語について学習する。			
	7	・作り物語を読む(なよたけのかぐや姫)		・物語のおもしろさを味わう。 ・敬語について学習する。			
2 学 期	9	・故事と小話に親しむ(蛇足)		・漢文訓読に慣れる。 ・中国の思想に触れる。			50
	10	・日記を読む(更級日記)		・日記文学について理解する。			
	11	・史記を読む(鴻門之会)		・中国史について理解する。			
	12	・唐詩を味わう(送元二使安西)		・漢詩のルールを理解する			
3 学 期	1	・作り物語を味わう(源氏物語)		・古文常識を理解する。 ・他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。			30
	2	・作り物語を味わう(源氏物語)		・古文常識を理解する。 ・他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。			
	3	・作り物語を味わう(源氏物語)		・古文常識を理解する。 ・他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。			
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。				・定期試験 ・授業内小テスト	
思考・判断・表現		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。				・定期試験 ・授業内小テスト ・提出物 ・授業ワークシート	
主体的に学習に取り組む態度		・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、作品を正確に読み取ろうとしている。				・提出物 ・授業態度	